

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

－ 目 次 －

1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国有林野の活用に関する事項
- (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

2. 次期計画の検討方向

福岡森林管理署

遠賀川森林計画区

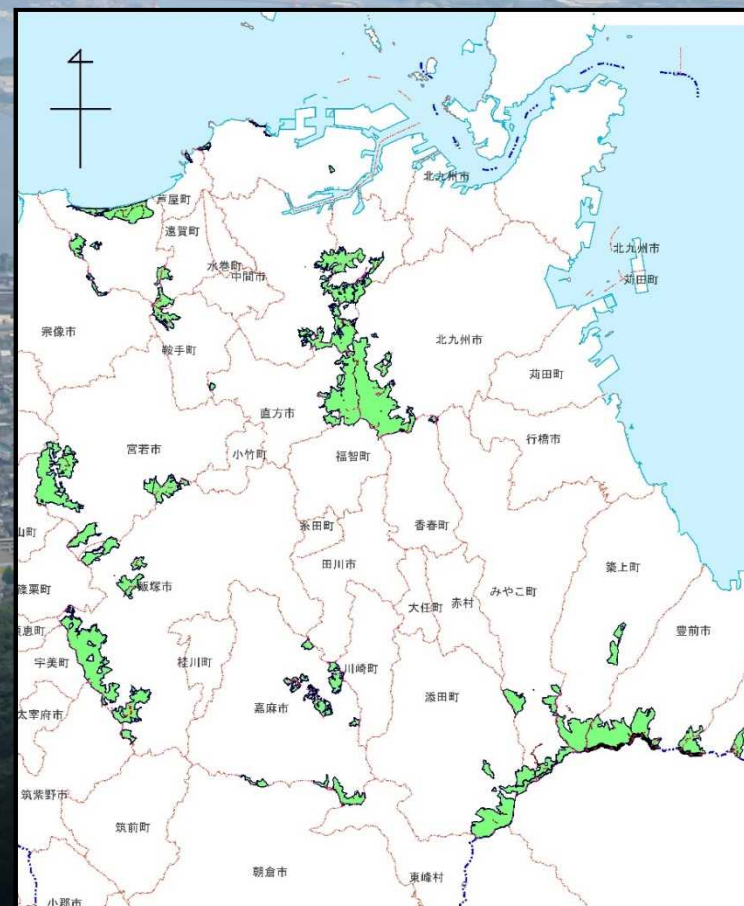
1. 現行計画の概要（平成29年4月1日～令和4年3月31日）

- ・ 遠賀川森林計画は、福岡県の北東部に位置し、北九州市、直方市など9市6郡からなり、区域面積は214,750haで福岡県総面積(4,987km²)の43%を占めています。主要な山系としては福智山地、英彦山・犬ヶ岳山地、古処・馬見山地、三郡山地等があります。
- ・ 本計画区の対象とする国有林面積は11,888haで、その内約55%が人工林となっています。
- ・ 水源かん養保安林等の制限林が約97%となっていることから、森林の有する多面的な機能を高度に発揮させながら適切な森林の保全・整備を図っています。

遠賀川森林計画区



皿倉山の眺望



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分	機能区分の考え方	目指すべき森林の姿	面積 (ha)
山地災害防止 タイプ	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林	3,426
自然維持 タイプ	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林	768
森林空間利用 タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林	1,458
快適環境形成 タイプ	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林	20
水源涵養 タイプ	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮	6,216

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組めます。

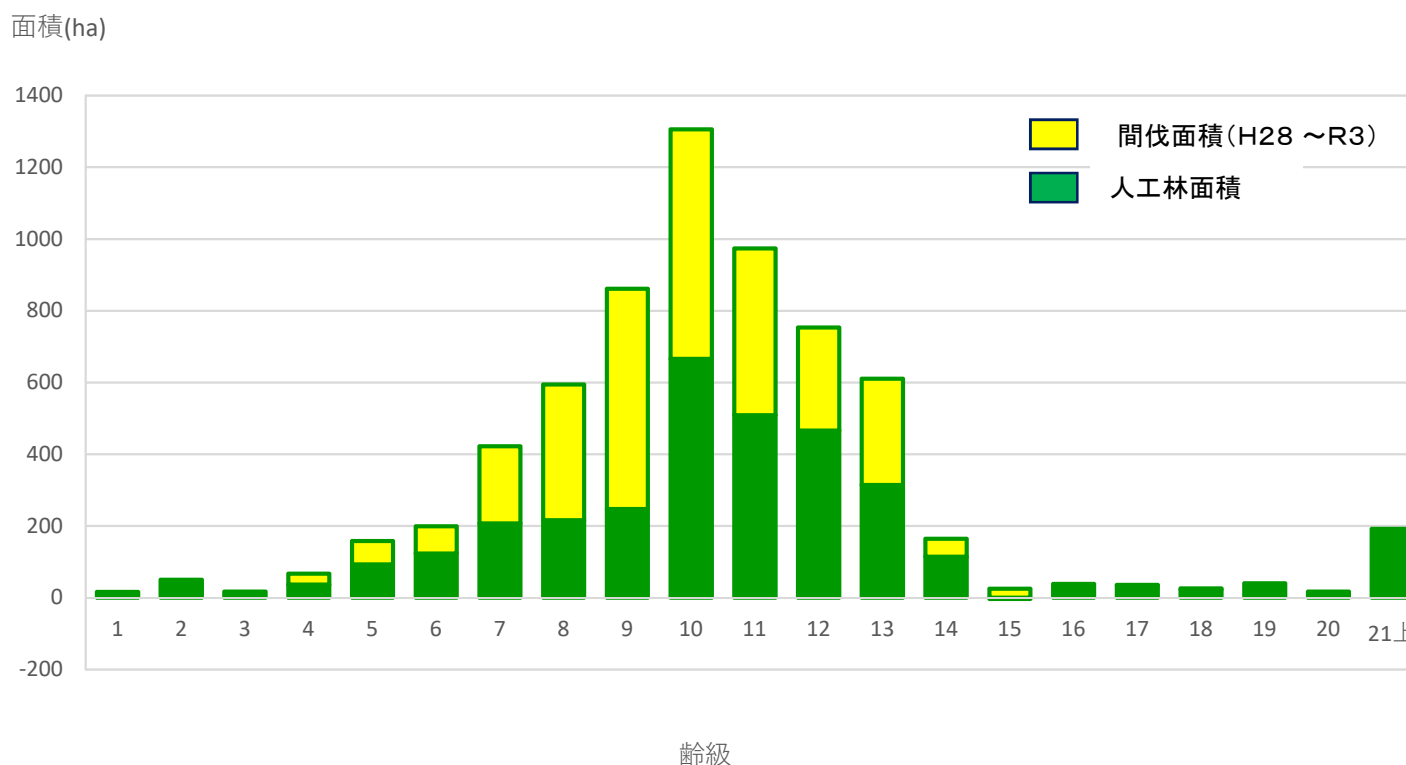


福岡県フォレスター協議会、八丁越地域森林整備推進協定及び福岡県森林組合連合会の合同により列状間伐及び効率的な作業システムについて現地検討会を実施し技術の研鑽に努めています。

③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林の面積は約6,566haで、間伐の実施が必要な16年生から60年生の面積は約5,110ha（人工林面積の78%）です。

また、現行計画（平成29年度～令和3年度）では間伐を約3,149ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



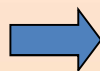
注：1年齢級は1～5年生を表します。

④ 多様で健全な森林の整備・保全

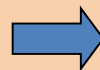
間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



針広混交林化



複層林化

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な天然林が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種 類	名 称	特 徴 等	面積
希少個体群 保護林	英彦山	ケヤキ、スギ、モミ、ツガ、カヤ等から構成される温帯植生の代表林相。	183
	犬ヶ岳	ブナ、ミズナラ、イヌシデ等から構成される広葉樹林。	63
	音滝山	アカマツ、クロマツ、その他広葉樹等から構成される針広混交林。	8
	大根地	カシ類、タブノキ、その他広葉樹から構成される広葉樹林。	3
	上畑	シイ類、タブノキ、その他広葉樹から構成される広葉樹林。	16



英彦山鬼杉

② 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



海岸部の松林は防風や飛砂防備などの機能により生活環境等を保全しており、松くい虫被害地において松林の再生に取り組んでいます。



平成29年に発生した九州北部豪雨に伴う山地災害箇所等について、山腹工等による復旧工事を実施しました。

資材に間伐材等を積極的に使用し、木材利用の推進にも取り組んでいます。

(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



再造林コストの低減を図るため、伐採から植栽までを一体的に実施する「一貫作業システム」を推進しています。

(4) 国民の参加による森林の整備に関する事項

① 国民参加の森林づくり

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

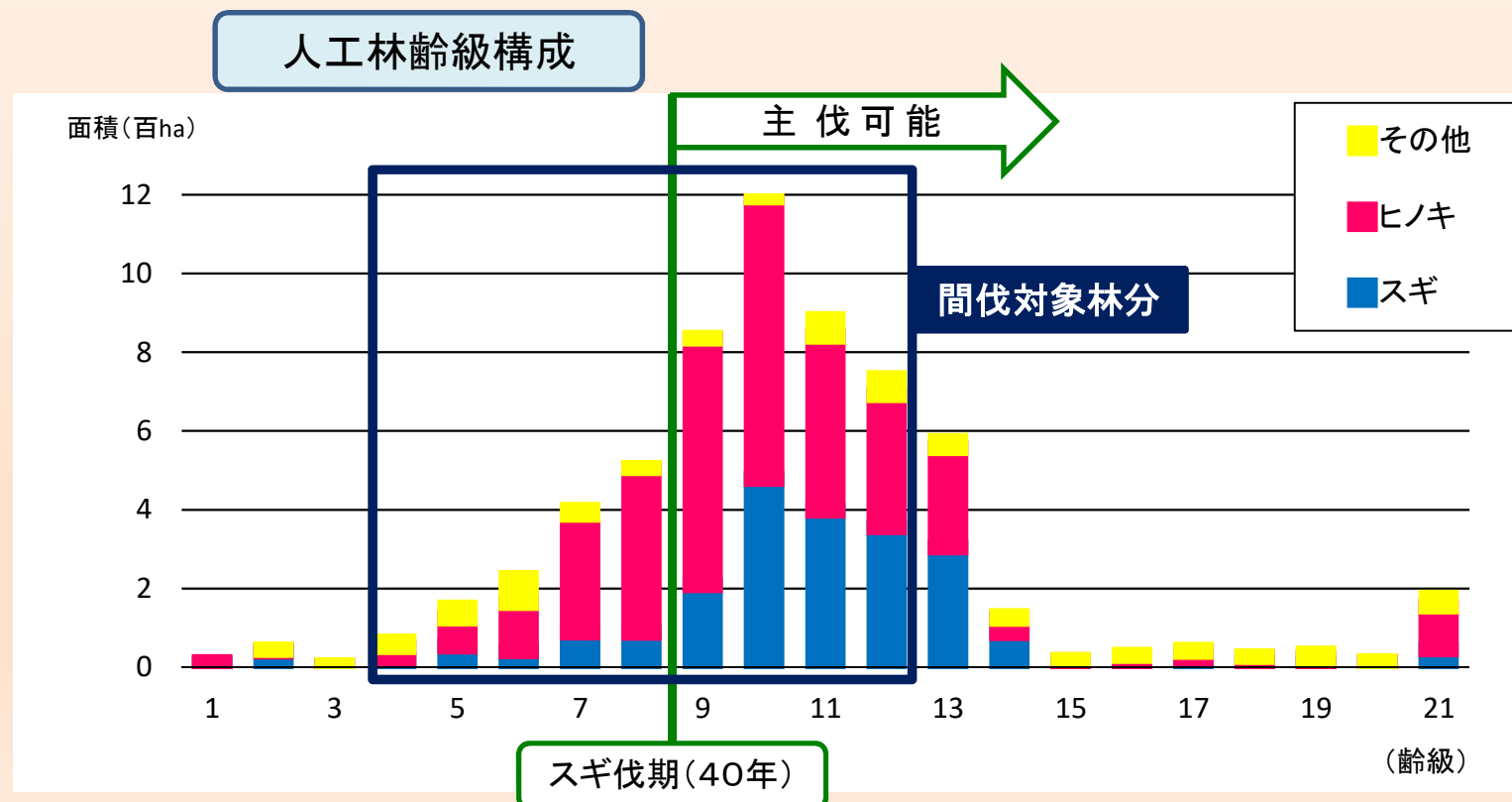


地元ボランティア団体等と連携・協働し、松くい虫被害地における植栽・除伐・松葉かきなどを行い、白砂青松の復元及び保安林機能の維持増進に取り組んでいます。

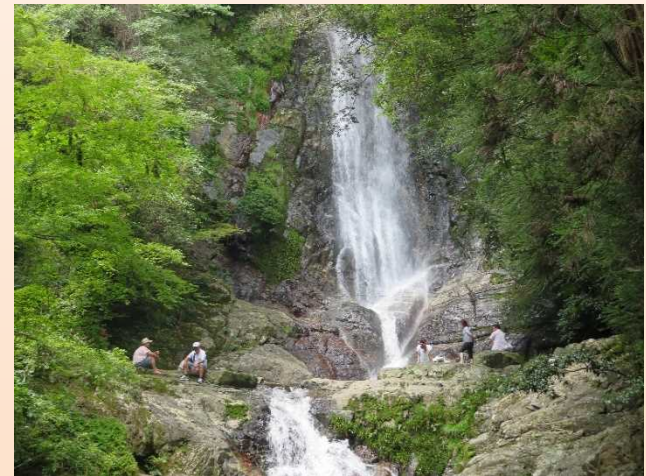
2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- 次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも、引き続き間伐を推進する必要があります。



- 人工林資源の成熟に伴う伐採（主伐）面積の増加が見込まれる中で、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策として二酸化炭素の吸収作用の保全及び強化を図るためには、引き続き間伐作業等の森林整備を推進する必要があります。
- このため、地域において相対的に傾斜が緩やかで林地生産力が高い人工林においては、主伐とその後の再生林を計画的に推進し森林資源の循環利用を行うとともに、適切な施業の結果、得られる木材については、地域に安定供給する必要があります。
- 本計画区は、レクリエーションや保護林に指定した森林も所在し利用者も多い地域となっていることから、優れた自然環境を有する森林の保全なども行う必要があります。
- 本計画区には特にシカの生息密度が高い地域があり、シカによる森林被害が多い状況を踏まえ、被害防止と併せ、地域の関係行政機関等と連携しつつ、捕獲などによる個体数調整を実施する必要があります。
- 海岸部の国有林では、毎年松くい虫被害が発生していることなどから、森林病虫害や気象害に強い森林の整備を、立地条件に応じ推進していく必要があります。



- 国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- 地域における国産材の安定供給体制の構築を図るため、低コストで効率的な作業システムの定着による生産性向上を進める必要があります。
- 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



(2) 計画内容

- 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、複層林化や針広混交林化など多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- 海岸保安林の公益的機能を維持することとし、引き続き、福岡県及び関係市町村等と連携し松くい虫防除を推進するとともに、松くい虫被害などにより機能の低下した海岸部の松林においては植栽等による森林の再生を推進する方向です。
- 貴重な植物種の保護を目的とする保護林については、厳格な保護管理を維持する方向です。
- 自然観察や森林浴などの利用を目的とする森林については、多言語対応の案内標識の整備等により利用しやすい環境整備を行う方向です。
- 社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるた、分収造林制度や協定締結による森林づくりの制度を活用して、森林整備を推進する方向です。
- 素材生産におけるコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- 民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して山地災害対策を進める方向です。